

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	港区
学 校 名	大阪市立磯路小学校
学校長名	糸井 利則

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・磯路小学校では、第6学年 46名

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

全国平均を1とすると、本校は、国語科0.95、算数科0.96という結果でした。国語科では、平成27年度調査結果の0.78から年々上がってきており、これまでで全国平均に最も近い結果を残すことができました。また、算数科では、0.96で、全国平均に迫る結果となっています。平均無解答率に関しては、国語科では、全国平均4.3に対し、本校では、2.1、算数科では、全校平均2.6に対し、本校では1.0となっており、どちらの教科においても無解答率が全国平均より下回っていることは特筆すべきことです。このことから、「あきらめず最後まで取り組む」姿勢が身につくよう努めていきます。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕結果を分析すると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」では、全国平均、大阪市平均を下回ったものの、「書くこと」「読むこと」については、大阪市平均を上回りました。本校では、「書くこと」を研究の重点として取り組んできており、その成果が表れてきているといえます。昨年度から、文集「磯路の子」を発刊する取り組みも行っており、「磯路の子」作成に向けて、さらに「書くこと」を伸ばすことができるよう努めていきます。

〔算数〕結果を分析すると、「数と計算」「図形」「データの活用」については、大阪市の平均を上回りました。「測定」「変化と関係」の分野については、課題が見られますので、改善を図っていきます。

学力向上に関して、国語科については、定期的に校内研修会を開き、全員で教材分析を行うなかで、「主体的・対話的で深い学び」を推進していくことができるよう取り組んでいます。また、算数科については「学力推進事業」により大阪市教育センターから指導員にオンライン授業参観、指導等を行っていただくことで、教員の指導力向上に努めています。今後も、考える時間の確保、友だちとの話し合い、学び合いの場を多くもつよう努めていきます。

質問紙調査より

1「朝食を毎日食べていますか」の項目において肯定的に答える児童の割合が9割を超えており、全国平均に迫っています。3「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」については、全国平均を上回っており、就寝時間にやや課題はあるものの、基本的な生活習慣は身につけているといえます。また、6「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合が全国平均、大阪市平均を大きく上回り、自己肯定感が高まっていることがわかります。これも家庭・地域・学校でのあたたかい見守りや声掛けの表れではないかと考えます。さらに、7「将来の夢や希望を持っていますか」についても、全国・大阪市平均を上回っています。普段の生活や全校朝会、授業のなかで、夢や職業について触れる機会を多くもつよう努めてきたことが、子どもたちの夢や希望をもつきっかけにつながったのではないかと考えます。さらに、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業を展開していくことで、友だちや共に学び合い、高め合っていく場を積み重ねてきた成果であるとも考えます。

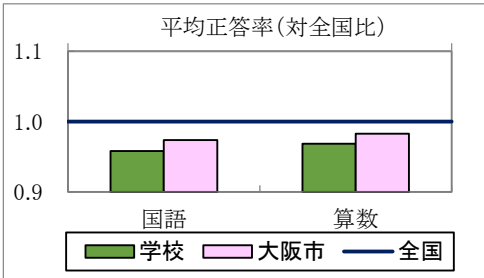
今後の取組(アクションプラン)

国語科においては、今後も研究の重点となる「書くこと」を中心として指導をすすめていくとともに、基礎・基本となる力を育成していきます。そのために、あらゆる教科で必要となる「語彙力」を身に付けていく取り組みを行っていきます。まず、一つ目の取り組みとして、昨年度から取り組んでいる「五色百人一首」を各学級や学校全体で取り組む機会を多くもち、古から伝わる日本特有の言葉の美しさに触れるようにしていきます。二つ目に、「声に出して読みたい日本語」をもとに、暗唱文集を作成し、数々の名文を暗唱し、言葉を習得する機会をもつよう努めていきます。算数科においては、引き続き、大阪市教育センターから指導員に来ていただき、授業参観を通して、授業改善に努めていきます。さらに、子どもたちのよさをより伸ばしていくことができるよう、教職員間での児童理解の場を多くもち、学校全体で、子どもたちの成長を目標として努めていきます。

【 全体の概要 】

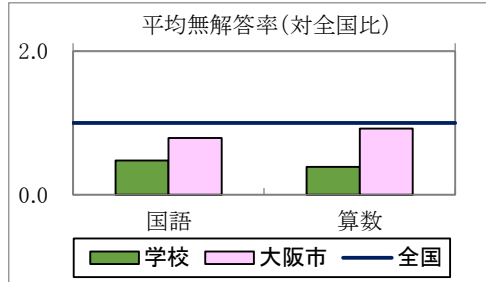
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	62.0	68.0
大阪市	63.0	69.0
全国	64.7	70.2



平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	2.1	1.0
大阪市	3.4	2.4
全国	4.3	2.6



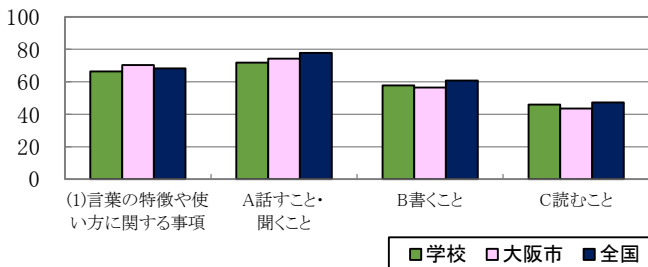
【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	6	66.3	70.3	68.3
(2)情報の扱い方に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
A 話すこと・聞くこと	3	71.9	74.3	77.8
B 書くこと	2	57.8	56.4	60.7
C 読むこと	3	45.9	43.5	47.2

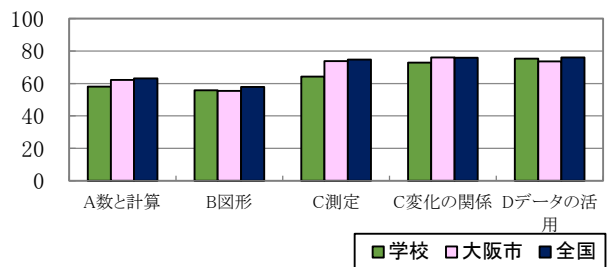
【 算数 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	4	58.1	62.2	63.1
B 図形	3	55.8	55.4	57.9
C 測定	3	64.3	73.8	74.8
C 変化と関係	3	72.9	76.0	75.9
D データの活用	5	75.3	73.6	76.0

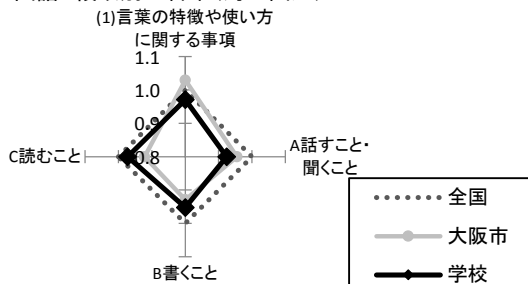
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



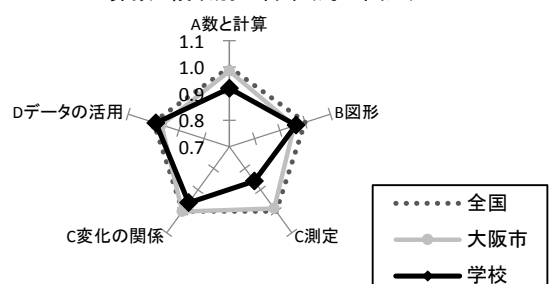
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

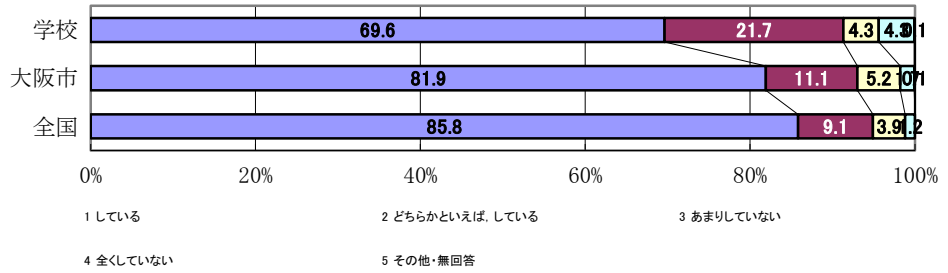
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

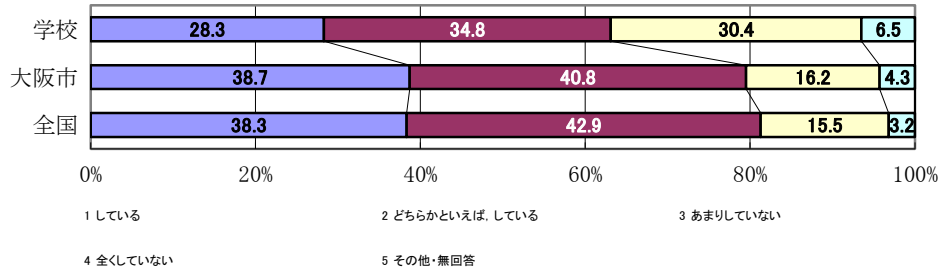
1

朝食を毎日食べていますか



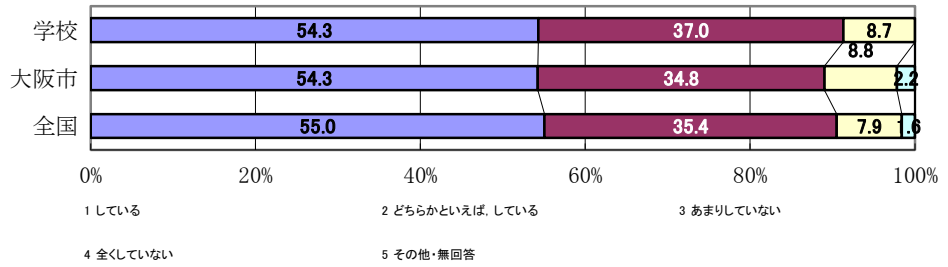
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



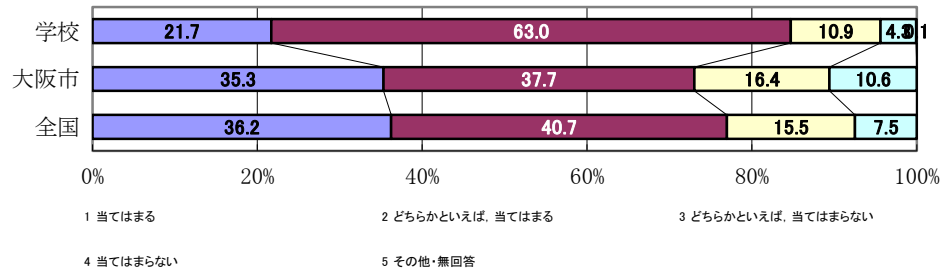
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



6

自分には、よいところがあると思いますか



7

将来の夢や目標を持っていますか

